

社団法人 長崎青年協会会報

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

3月号



社団法人
長崎青年協会憲章

我々は会員の団結と

相互扶助の精神の基に

自己の建設と

会員の親睦を図り

もって地域社会の発展に

寄与する事を目的とする



2月定時例会開催

日時：平成2年2月21日

場所：ホテルニュー長崎

会長挨拶

野上 林八郎



暦の上では立春も過ぎ、寒さもだいぶやわらいでまいりました。本年度2回目の同伴例会にご出席頂きました。会員の奥様方、O.Bの奥様方、お忙しい中ありがとうございます。

昨年4月よりスタートいたしました青年協会21年度も、3月予定の「新人研修」、「卒業者を送る夕べ」を残すのみとなりました。3月に入りますと、職場での移動、又、決算年度末など、会員の皆様も、煩雑な事務処理に追われる日々となろうと思えますが、確実な仕事、引継をされて、新年度を迎えてほしいと思えます。

さて、2月3日告示でスタートした第39回衆議院選挙、今回の争点は「消費税」「農政」「リクルート問題」、又、「政治改革」等であったと思いますが、ご存知のように社会党の躍進、自民党の絶体安定多数確保で、海部首相続投が決まったようです。今後21世紀へ向けて、国民に理解される確かな政治を行なっていただきたいと思えます。

さて、本日は「長崎旅博覧会協会」の御協力によりまして、今年8月2日より開催されます「旅博」のプロデューサーであり、又、テレビ、映画、舞台等の脚本でご活躍中の市川森一氏をお招きして、旅博についてお話しいたきます。

先日の連休では、長崎市内交通大渋滞となり、旅博成功のカギは交通問題だと言われている点からさまに出てまいりました。開催日まで、数ヶ月を残すのみとなった以上、長崎の住民として、成功させなければなりません。我々も主催者の一員として、期間中、マイカー自粛運動と、きれいな街づくり等、一人一人が長崎の将来を考えて協力し、成功させなければと思えます。

委員会報告

<国際委員会>

「長崎地域留学生交流推進会議」におきまして外国人留学生に対する「ホーム・ステイ」の受け入れ側の家庭を募集しているという案があり我々も今後協力していこうと思っております。それにつきまして、受け入れ側の手引き書を作成しようと思っております。そこで今までに経験のある家庭にアンケートをお願いしまして、今後資料作りをしていきたいと思っておりますので、皆様の御協力をよろしくお願い致します。

<広報委員会>

2月の広報誌のクイズ第2弾の当選者発表。

桑田君、船越君、張君、井上君、金域さん、以上5名の方々でした。ちなみに答えは問1：壱岐 問2：39.1kmでした。皆さんおめでとうございます。



2月例会場にて

市川森一氏と語る会

今回、私が皆さんと話そうと思ったのは、旅博のプロデューサーとして、一年になります、一度も長崎市民の方との直接の話し合いがなかったからです。そこで特に若い長崎の方と話し合いがなかったというわけです。

旅博は今、危機にひんしています。さまざまなハード面の事より「心」がです。そもそも博覧会というのは、その地域の人達（長崎の住民）が文化レベル、文化意識を結集して、それを県内の方々、市内の自分達が認識し合う。それをステップにして明日の長崎の活力にしていくものです。それを見失った博覧会は、何の意味もないということです。そういった現状がさまざまな不評を長崎の人達の中から正しさせているわけです。そもそも長崎は祭り街です。天領独特の民活、街の人達が祭りをおこし、街の人達が楽しむために、そして自分達の街の発展の為に祭りを行なう。そういったものは一つの祭りである「長崎くんち」の中にも生きづいており、すばらしい、ノウハウも持ち合わせています。「長崎ぶらぶら節」という詩もごぞいます。長崎は歩いていると、どこかで祭りとお出合える。そういった活気に満ちあふれた天領独特の街であります。

私はシナリオライターとして、さまざまな長崎を題材にした脚本を書いています。長崎出身ということもありますが、もともと私はファンタジーが好きで、なぜか古い歴史、さまざまなドラマが繰りひろげられてきた、この長崎を題材にしてしまいます。長崎は古くから外国と接し続け、長崎の文化はその外国の影響を強く受けています。現在日本の中では長崎は一つの街にすぎませんが、アジアの文化の拠点、日本の歴史の中心である、といっても決して過言ではありません。それほど古い歴史をもつ街、長崎なのです。

この博覧会（旅博）は「民活」を取り入れていない「民意」を受け入れていないんじゃないかというのが現状です。ここで「旅博」を皆様にお返します。そして皆様「民活」の力を受け入れるようにします。こういった思いで旅博協会はいます。そこで本日は、ザックバランに話し合いたいと思います。

◆ ◆ ◆
青年協会 長崎の市民、県民の旅博に対する意識を高めるために仮称「長崎歴史旅博クイズ」を企画しています。

市川プロデューサー 歴史クイズのやり方、内容はどうなっているのか？

青年協会 市民会館において期間中に市民多数の参加を求め、「旅博」「歴史」「文化」をサブテーマに來られた方々に勉強していただく「YES・NO」型式で行なう。

市川プロデューサー テレビ中継してみたらどうか。現在ある「ウルトラ横断クイズ」の長崎県版で行ってみる。旅博は県のイベントであり県全体を使って行なう。例えば、長崎から島原、そしてその土地にちなんだクイズをする。県内各地には、さまざまな歴史をもった場所がある。長崎の歴史をポルトガルの影響を受けた時代から幕末にいたるまで、そういったものの連続で長崎の歴史を勉強してもらおう。テレビ（視覚）により県民にうったえる。そして旅博です、人賞された方には、すてきな「旅」をプレゼントしたらどうか……。

その他にもさまざまな意見が出ました。もっと「民活」を…… 地域の青年団、自治会と話し合いをもち、そのパワーを生かし、上からのおしつけではなく、下から、各地域から、盛り上げていくように。

短い時間ではありましたが、すばらしい意見交換が出来ました。残された時間はあとわずかです。しかし、やるからには、少しでも自分達が望むものに、住民……長崎の人達に喜んでもらえるようにやって行きたいものです。長崎に誇りを持ち、長崎を愛している我々が長崎のために、活力をもって取り組んでいくことが大切なのです。



長崎旅博プロデューサー 市川森一氏

卒業を間近にして 竹中 悟



「お世話になりました長崎青年協会」。私は昭和47年度に当協会に入会をいたしました。今考えると18年目、たぶん協会では最古参ではないかと思えます。私が入会をした時はまだ会員数も30名もいなかったと思えます。

私なりの協会の歴史をたどると、青年協会こそが私の青春時代の、大きな1部であって、人生感を育ててくれたといっても過言ではないと思えます。現在の友人、知人はすべてと言っていいほど青年協会活動の中に生まれ造り出されたものと感謝をしております。今、振り返ると、昭和50年に7,000名の老人を招待して行った、老人観劇会。又、めぐまれない子供達を招待して行った、インド魔術団。いろんな活動、今となれば一つ一つが走馬燈

のように頭をかけめぐります。酒をくみかわし、激論を語った日々、青年のなんたるかを語った日々、今となればほんとうに、なつかしい思い出であります。

私は1つだけ自慢があります。それは現在、皆様方が使っている手帳、それは私が総務委員長の際に立案作製をしたことです。私の1つの誇りと言っても過言ではありません。また一生忘れることはないでしょう。青年の活動とは自分自身に忠実であって、行動力であると思えます。最後の2～3年は皆様に迷惑をかけましたが、私は青年協会が大好きです。

どうぞ後輩の皆さん青春時代は2度とありません。若者の力を結集しすばらしい発展を心よりお祈り申し上げます。

青年協会万才。

青年協会の思い出 福田 穂積



私が青年協会に入ったのは、昭和55年の3月で、丁度10年になります。10年一昔と言いますが、長い様で短かった10年でした。最初の2年間は、何も分らないままに過ごし、長い一年一年でしたが、良き先輩達に支えられ、何とか続けていました。

仕事がサービス業であるホテル勤務の為、事業への参加が出来にくく、迷惑をかけるばかりで、もうやめようと何度か考える様になり、気持ちが落ち込んでいましたが、その度に、やめるのは何時でも出来る。自分が決めた事は最後までやりたい、との思いが、卒業を迎える事が出来たわけです。

青年協会に入って良かったなと思うことは、良き先輩、良き後輩に出逢えたこと。たった一度の

委員長でしたが、理事としての経験が出来たこと。そして、ソフトボール大会で優勝監督となり、忘年懇親会ではかくし芸大会で優勝の仲間入りで、1年に2度の優勝を経験した事です。この場をおかりしまして、栗原、森両君をはじめソフトボールチームメンバーに、又、かくし芸大会で渡辺委員長をはじめ地域活性委員会のメンバーに対しまして、感謝をし、お礼を申し上げます。卒業して行きますが、これからも宜しくお願い致します。

後輩の皆様へ贈る言葉として一言、付け加えたいと思えます。それは、会員として卒業するまでは頑張って、そして、何かを得て欲しいと言うことです。それは自分が歩んだ道に後悔をしないと言う事と思えます。

これからの青年協会が、天馬の如く飛翔して行く様に期待し、祈念しております。

新人研修無事終了

2月24日の準備会から始まり、3月10日、銀鍋で行われた新人研修も無事終了致しました。私自身、新人のメンバーとして今回、いろんな面で勉強させて頂きました。

準備会の数日前に田川俊幸会員開発副委員長より、電話が有り、準備会の出欠の連絡を頂きました。出席は予定しておりましたが、何をやらべいいのか、どんな事をするのか何もわからないでいる私に田川先輩は、「まあ、家の内で簡単にできる事ですよ」とのやさしい言葉、そうか内職でもやるのか、と私はその夜はなにも考える事もなく、熟睡いたしました。

そして、準備会の日、野上会長、船越副会長、金田会員開発委員長をはじめ、会員開発委員のみなさんが事務所におられ、なに事だろうと「ひとつと、のように席についた。そして、準備会が始まり、長崎青年協会20年のスライドを観せて頂き、O.Bならびに先輩方々の活躍を知る事ができました。これが新人研修だなどひとり納得!?。ここまでは田川副委員長のやさしい言葉を頭に浮かべておりました。ところが、金田委員長の話がだんだん進むにつれ、私の頭には会員みなさんの顔を、一人一人思い浮かべるように、出席してもらえらるだろうかと「ひとつと、ではない自分に、元々小さい自分がなにもかも小さくなっていくような気がしました。

新人研修対象会員64名、当日参加出席50名の目



激論中の左より湯藤・高稲・中川君

標、金田委員長の「がんばれ、のやさしい言葉にも不安いっぱいの日がはじまりました。

出席をお願いするはがきに、戻ってくる時は出席にみんな「丸、が付いて帰ってこいよ、と願いを込め、その夜は山手線のラッシュの夢!

しかし、現実には厳しく、50名には、ほど遠いはがきのお帰りとなりました。電話での出席のお願いでもまだ足りない結果に、田川副委員長、川口先輩のアドバイスで全会員の方々への、アドバイザーとしての出席をお願いさせて頂く事になりました。

そして新人研修当日、野上会長の挨拶から始まり、今年卒業される江村直前会長、馬場監事の貴重なお話に、今後の活動にがんばりたいとの気持ちを考えながら、次に私自身も参加した、YES NO 問答。両サイドに井上、倉田両先輩。テーマは、「女性会員も入会させるべきだ!!」のNO側。私の意に反して、湯藤先輩の肯定論に言葉は反論、心はもちろん……。この企画はおもしろかった。ぜひもう一度、期会があればお願いしたいですね。

さて、最終確定出席は、役員・各委員長ならびにオブザーバーとしてお願いさせて頂いた、先輩会員のみなさんをはじめ、対象会員の御出席を頂き、58名の方々に参加して頂きました。目標にはいきませんでした、たいへん多忙の時期に出席して頂き、ほんとうに満足感の気持ちがありました。

吉田 正幸



会長より修了証を受ける吉田君

同好会だより

ゴルフ同好会

第3回野上会長杯ゴルフコンペを、3月4日(日)島原カントリークラブにて行ないました。前夜のクラブハウスでの懇親会も例年の賑わいで、中には、翌日1番スタートの事などお構い無しに飲んでた方も……。

さて、当日は、6時に起床し、朝食を済ませ身支度を整えてるうちに、スタート時刻となりました。OUT.IN3組ずつに分かれ、各、春風の吹くフェア・ウェイに白球が打ち出されました。

結果は、優勝、小川一朗先輩(ネット69)。2位、太田勝良先輩(ネット72)。3位、井川憲太郎先輩(ネット74)でした。

今回上位3名共 O.B の方に占められ、現役会員の面目は保てませんでした。次回は4月15日(日)大村湾カントリークラブ(9:00スタート)を4組用意しています。若い現役会員の参加、お待ちしております。尚、来年度より年間会費を2,000円にさせていただきます。よろしく願いたします。

幹事 金田、田川(俊)

釣同好会

3月は皆さんが忙しいということで4月8日に予定をしています。

今回は O.B を2~3名誘い、例会時に興味のある方にハガキを出し、夜は懇親会を開く予定です。

新入会員紹介



村岡 功志朗 君

S 33. 8. 5生 (31才)
勤務先 村岡デンタルクリニック
長崎市葉山1丁目6-10
西友道の尾店4F
TEL 57-8885
現住所 西彼長与町
高田郷22-303
TEL 57-9153
紹介者 高稲 裕 君
配 属 会員開発委員会

よ(ろ)こ(び)コーナー

- ★2月婦人同伴例会において御忙しい中を出席されたO.Bの方々。松尾豊明、小川一朗、埜中孝、久保龍虎、勝本博文、三浦勝太、椎木亮一先輩。
- ★野上会長、仕事中にトラックより飛び降り足を骨折、全治一ヶ月。
- ★船越君、高級マンション契約。
- ★田川孝之君、フラワーショップ「夢市」新装開店。
- ★北川君、バレンタインデーの日、たくさんのチョコレートをもらったそうです。
- ★木屋君、2月18日に御結婚。おめでとう。
- ★大平君、田中(紳)君、川口君、例会出席の皆勤賞のリーチ者たち。あと1回がんばれ。

卒業者を送る夕べのご案内

日時：平成2年3月22日 PM 7:00

場所：ホテルニュー長崎

卒業者は、野上林八郎・江村大洋・竹中悟・江島寿明・馬場正勝・福田穂積・鳥井正臣君の7名の方です。

卒業記念プレザー贈呈式・スライド映写等が予定されております。

編集後記

もう次年度体制がスタートしようとしていますが、我、広報委員会はもう一回、4月号を発送しなければなりません。長いようで短かった1年でしたが、有終の美を飾るべく、頑張りたいと思います。(平山)